

調査項目②「空き家の事前予防対策について」

1. はじめに

箕面市内には令和6年2月末時点で「特定空き家」は存在せず、戸建ての空き家率は北摂7市で最も低く5.4%であるが、「管理不全空き家」は8件ある。現在、市当局は空き家の実態を市民からの通報・苦情からしか把握できていない状況である。

当委員会では、大災害発生時での老朽化した空き家の倒壊防止対策や様々な有効活用など、「空き家の事前予防対策」について市当局に提言するため、先進自治体の取り組みを調査・研究活動を実施した。

2 調査経過

日 時	活 動	概 要
R 6 . 2 . 6	視 察	愛知県新城市 「新城市空家等対策計画」と空家等（候補）抽出の半自動化に向けた屋根等判断方法のマニュアル化について
R 6 . 5 . 1 1 R 6 . 5 . 1 2	地域別意見交換会	「空き家の事前予防対策」をテーマにグループディスカッション形式で意見交換

3. 調査報告

新城市では宅地建物取引協会を「空き家」の相談総合窓口とし、早期対応の充実化を図っている。老朽化した空き家の倒壊防止対策として民間企業と提携し、航空写真とデジタルステレオ技術による早期発見は、まさに自然災害等から市民の安全・安心を守る「事前予防対策」として大変有効であることを確認した。

4. おわりに

航空写真のデジタル解析技術による「空き家の倒壊防止対策」は、自然災害等から市民の安全・安心を守る、まさに「空き家の事前予防対策」の要諦である。本市においても、今後、多面的、長期的、根本的な視点で、空き家の課題解決に取り組む必要があると考える。